

安心・安全なまちづくりをめざします

菰野町議会

民政クラブ会報

平成17年
4月発行

平成十七年度一般会計予算百五億円、特別会計を含め予算総額二百二十二億円を可決

三位一体改革の全体像が不透明な中で老人保護措置負担金や介護予防生活支援補助金などが削減され、所得税の税源委譲や交付税を見込みながら、各種計画に必要な財源を考慮して本年度の予算編成が行われました。

地方財政は極めて厳しい状態のなかで、昨年の十二月に我が会派が提出した「民政クラブ十七年度予算要望事項」の多くが取り上げられ予算化されました。

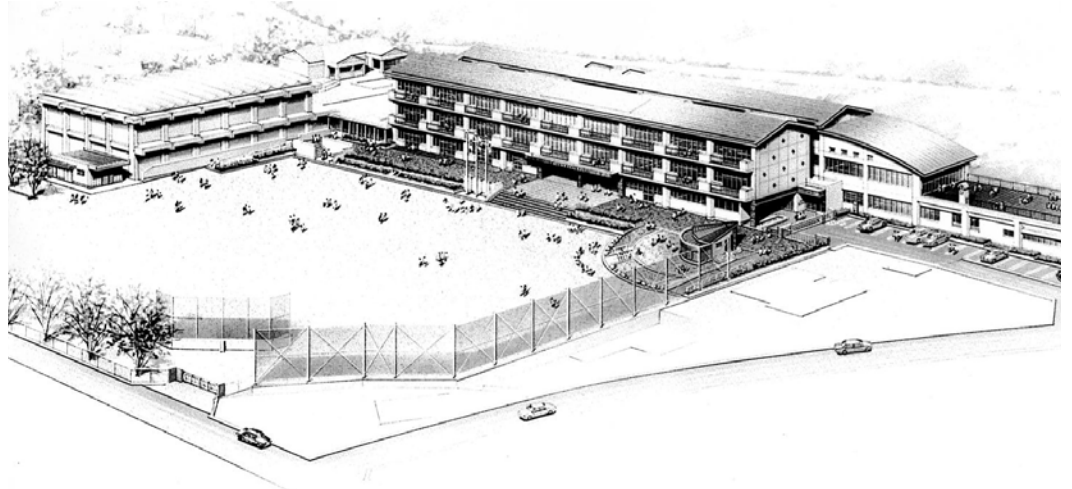
葬祭会館の増築決定

町民からの要望が多かった「葬祭会館の増築」が予算化されました。完成すれば全イス席で大型葬にも利用できる一層利便性の高いものとなります。現在使用されている会館も使いやすく改修される予定です。

農業集落排水事業

田口クリーンセンター完成

平成十二年度から十六年度にかけて、田口地区の処理人口 七百二十人を対象に、総事業費七億七千万円をかけて工事が行われ、三月二十八日に完成式が行われました。同事業は現在、田口新田地区においても工事が進められて、平成十九年度に完成する予定です。



菰野町立竹永小学校校舎

竹永小学校校舎完成予想図

教育施設の充実

まず「町内小・中学校増築・改築工事」では朝上小学校体育館改築工事と八風中学校校舎増築工事が本年度予算で設計が行われ、十八年度に施行されます。

「耐震補強工事」では、菰野中学校南校舎の耐震補強、大規模改修工事が平成十七年度に着工します。現在工事が進められている竹永小学校校舎改築工事は校舎本体は六月完成、旧校舎取りこわし、外郊工事も含めて九月完成予定です。

高機能かつ多機能で変化に対応した健康的、安全で豊かな施設環境が確保され、地域の生涯学習の拠点としても、県下に誇れるモデル校舎が期待されます。

水道料金が改定されます

平成5年以来据え置きとなっていた水道料金が12年ぶりに改定されることになりました。今年6月使用分から平均で13.97%の引き上げとなります。老朽化した施設の更新、災害に備えて多様な水源の確保が必要な為です。

料金改定における水道料金の試算 $\text{水道料金} = (\text{基本料金} + \text{水量料金}) \times 1.05$ (消費税)
(メーター口径が20mmで、1ヶ月30m³ご利用いただいた場合)

改定料金 (新料金)	現行料金 (旧料金)
3,675円 (税込)	3,097円 (税込)
《計算方法》 1,550円 (基本料金) 1,950円 (水量料金) 20m ³ × 40円 = 800円 10m ³ × 115円 = 1,150円 175円 (消費税)	《計算方法》 1,300円 (基本料金) 1,650円 (水量料金) 20m ³ × 30円 = 600円 10m ³ × 105円 = 1,050円 147円 (消費税)
1か月 578円の引き上げとなります。	



菰野町の将来のためにがんばる政策集団



佐藤 孝幸（教育民生委員会委員長、会派代表）

自宅 96 0623

私たち民政クラブが、平成17年度予算編成に当たって要望していた各種公共施設整備計画のうち、葬祭会館の増設、菰野中学校南校舎の耐震化に伴う大規模改修、朝上小学校体育館新築および八風中学校校舎の増築のための設計、などが実現することになりました。
町民の皆さんのご要望を実現に向けて頑張る政策集団「民政クラブ」に、今後とも温かいご理解とご支援をよろしく願います。ご意見などございましたらメンバーの誰にでもお申し付け下さい。



伊藤 泰範（産業建設委員会委員、会派副代表）

自宅 93 1768

国の三位一体改革、地方分権が、そして少子高齢化が進む中、「自立の町」として本町の財政運営は年々厳しさが増すことと思われます。今、本町の中学校においては、さまざまな原因から学校に通えない生徒、つまり不登校生が近年増加傾向にあります。私は3月第1回定例議会で「各種の改革が本年度予算に与えた影響と、そして今後の財政展望について」また「不登校に対する本町の基本姿勢とこの深刻な問題について」今後の対応をたずねました。



内田 親根（教育民生委員会委員）

自宅 96 4834

格差社会について-NHKの特別番組を観て----**随想** ある支持者の方からNHKの特番の討論会を教えていただきまして、観る機会を得ました。--格差が極端に広がっていけば、あらゆる調和が失われ、社会基盤の崩壊です。その社会のマイナスの影響から、現在と将来の子供たちを守る手だてを打つことが、とても重要な行政のテーマになってきています。我々大人がしっかり子供を守り、育て、思いやりと愛情で満ちた明るい地域社会と安心できる環境を創りたいと考えております。



黒田 勝（監査委員）

自宅 96 0774

菰野町監査委員として「三位一体改革」が進められていく中で、住民が真に求めているものは何かを的確に把握し、行政と住民が知恵を出し合い、費用対効果の適正、透明性の確保がなされ、行政運営をしていく必要があることから、健全財政の維持に努めてまいります。
また、地方財政は極めて厳しい状況にありますので、本町においても自主財源の確保に努めなくてはならないと考えています。



服部 勲（総務財政委員会委員）

自宅 96 0225

「豊かな郷土の創造」の推進を求め議会活動してまいります。この21世紀を単独自治体として進めるこの菰野町の中であって町民の皆様には、補完性の原則にもとづき自らでできることは自らでそんな事を進めながら皆さんと共に菰野町発展のために活動してまいります。今後ともご指導ご鞭撻をよろしく願います。



諸岡 文人（産業建設委員会委員長）

自宅 96 0366

平成17年度がスタートしましたが、引き続き菰野町の自然環境を守り、子供たちには虐待やいじめのない、またお年寄りには生きがいのある安心・安全な住みよい町づくりのため町民の皆様とともに取り組んでまいります。
3月議会では「心身障害者小規模授産施設の改善を求める」質問をいたしました。



矢田 富男（議長）

自宅 93 4045

議長就任以来早6ヶ月が過ぎ、開かれた議会を進めるために公正・公平な立場で議会運営を進めてまいりました。
菰野町では、今、行政改革を進めるため行政懇話会が発足し単独の町として町民の皆さんと共に21世紀に生きる子供たちのために議会と行政が両輪となって改革を進めていかなくてはならないと考えます。今後とも皆様のご指導・ご支援をよろしく願います。